



城崎 小中一貫教育便り

城崎小中一貫教育推進委員会
令和6年9月2日発行

豊岡市では、平成29年度から、小中一貫教育として位置付ける取組の総称を「豊岡こうのとりプラン」と称し、義務教育の9カ年の一貫した教育で、子どもたちが将来、心豊かで自立できる生きる力を育成する小中一貫教育を、各中学校区で行っています。本年度は小中一貫教育に取り組んで8年目になります。不定期ですが、「城崎小中一貫教育便り」を発行していきます。

豊岡市小中一貫教育の目的と内容について

1 目的

- (1) 一人一人の子どもたちの生きる力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。
- (2) 豊岡市の3つの教育課題（学力・不登校・特別な支援が必要な子どもたちの教育的ニーズへの対応）の改善を図る。

2 内容

- (1) 系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践するローカル&グローバル学習の時間
 - ①英語教育
 - ②ふるさと教育
 - ③コミュニケーション教育
- (2) 系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する生活指導と学習指導
 - ①授業づくりと学級づくりの一体化
 - ②引継ぎ連携システムの強化
 - ③家庭・地域との連携

城崎中学校区での取組の一部紹介

◎小中合同運動会【10月1日（火）】

城崎中学校を会場に、小中それぞれのがんばりを認め合いながら運動会を作り上げます。

◎プロジェクトC

大溪川周辺のごみを拾う等、町内を回り、郷土愛を育みます。

◎プレ登校

小学6年生が中学校に登校し、中学校の学校風土を知るため、授業体験や部活動見学をします。

◎乗り入れ授業

中学校教員が、小学校に出向いて授業を行います。

◎小中合同研修会

小中の教職員が授業の進め方や子どもたちについて話し合います。

※裏面には、「城崎小中一貫教育グランドデザイン」を載せています。

城崎小中一貫教育グランドデザイン

「夢を持ち ふるさとの未来を担う 城崎の子」

目指す
子ども像

- 夢や志を持ち 心身を鍛え 学び続ける子
- 自他を大切にし お互いを認め合い 高め合う子
- ふるさとを愛し 誇りを持って 城崎を語る子

実践する力

- ・計画性 ・やりぬく力
- ・問題発見、解決力 等

問題を解決する力

- ・思考力・適応的学習力
- ・基礎力・創造力 等

コミュニケーション力

- ・自他認識力・合意形成力
- ・人間関係力・対話力 等

自律する力

- ・主体性 ・判断力
- ・自制心 ・規範意識 等

協働・共生する力

- ・協調性 ・協働性
- ・優しさ、思いやり 等

ふるさとを愛する心

- ・ふるさとへの愛着心
- ・伝統・文化の理解継承 等



9年間のスパイラルで
育てたい資質・能力

	前期（基礎充実期）				中期（活用期）			後期（発展期）	
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
知育	★学習規律の定着と基礎・基本的な事項の習熟				★身に付けた力の活用と論理的な思考力の育成			★自ら学ぶ態度と他と関わり合った課題追求力の育成	
徳育	★自他の尊重と規範意識の育成				★自ら考え判断し、行動する能力の育成			★下級生の規範となる高い意識の実践力の育成	
体育	★基本的生活習慣の定着と運動への意識高揚				★望ましい運動習慣、生活習慣の確立			★自ら課題を自覚し、改善する能力の育成	

交流活動

- 城崎 Connection Project
 - ◆小中合同行事 交流活動
 - ・児童会・生徒会合同 実行推進会議
 - ・小中合同運動会
 - ・プロジェクトC
 - ◆体験入学（プレ登校）
 - ・中学校生活体験
 - ・授業・給食・清掃
 - ・部活動体験
 - ・入学説明会

家庭・地域・関係機関との連携

- 家庭学習の定着に向けた取組
- 各関係機関との連携
- 地域行事への積極的参加

ふるさと教育＋英語教育＋コミュニケーション教育

- 9年間プロジェクト
 - ふるさと教育、コミュニケーション教育と英語教育の融合
 - ◆「ふるさと城崎を英語で語る」をコンセプトとした取組の計画的推進

学習指導・授業研究

- 小中統一研修テーマ
 - 授業改革：分かる授業
 - 授業における5つの実践
 - ユニバーサルデザイン化
- 心に響く道徳教育の実施
- コミュニケーション授業
 - 演劇的手法を用いた授業の推進
- 集団行動 小中統一モデル
- 英語教育の推進
 - ◆豊岡モデルの英語カリキュラムの実践
 - ◆教員の授業力向上
 - ◆英語指導助手を活用した指導